（別紙3）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス　ケット・シー・ガーデン（Ⅰ・Ⅱ）			
○保護者評価実施期間	令和7年12月1日	～	令和7年12月26日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	32	（回答者数）	28
○従業者評価実施期間	令和7年12月1日	～	令和7年12月26日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	11	（回答者数）	11
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月7日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	アニマルセラピーの導入	動物と触れ合うことにより、情緒の安定を図り、ストレスの緩和に役立てている。 また、コミュニケーション能力を高めるためのきっかけとして役に立てている。 加えて、命の尊さについて学ぶ機会となるよう支援している。	犬などの動物を連れて散歩に出るなど、外出する事により児童の情緒の安定やストレスの緩和に資するだけでなく、運動量の増進につなげていきたい。
2	遊具の設置	室内での活動に偏ってしまうことがないように、子どもたちが興味を持って活動することができる遊具を設置している。安全に配慮し、子どもたちが使用する際には、職員が必ず見守りにつくよう配置している。	互いに順番を守ったり、譲り合ったり安全に配慮したりする事ができるよう、子どもたち自身でルールを考えたりお互いを思いやったりする姿勢を身につけることができるように支援していく。
3	専門職の「適切な」配置 （保育士・OT・看護師・栄養士　等）	1号店、2号店が同一敷地内にある強みを活かし、全ての子どもに対して多くの職員がそれぞれの専門的な視点から支援に関わる事ができるように工夫して職員を配置している。	○職員は年間を通して各種研修に参加し、専門的視点を深め、総合的な視野を広げ、必要な資格を取得できるような機会を引き続き設けていく。 ○子どもたち個々の支援のあり方について専門職としての視点から情報交換を密に行い、支援の質の向上を図る。
4	家庭へのサポートの充実	HPやLINE・その他SNSなどを通して子どもたちの活動の様子が家庭に届く(家庭が知る)ことができるように積極的に配信している。 加えて、必要に応じて個別に相談の場を設け、家庭での困りや不安の解消に努めている。	家庭(保護者)との連携を密にし、家庭での困りや不安を聞き取り、必要な支援や情報を充分に得る事ができるよう、情報発信の場を更に充実させていく。また、子どもたちの活動の様子によっては積極的に家庭にアプローチする機会も設けていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	特定の職員が保護者とのやり取りをすることが多く、情報共有が不充分なことが稀に起こる。	勤務歴や職歴の浅い職員が多く、家庭とのコミュニケーションが充分に取れずにいたり、経験のある職員が安易に肩代わりしてしまうことによって起こるケースが散見される。	送迎などの機会を利用し、学校や保護者との接点を逃さないようにし、話をすることができる関係性を築いていく。 保護者とのやり取りを行った職員が情報の重要度に関わらず全体で共有し、共通理解を図る。
2	動物の飼育が多頭飼いの状況になりつつある	アレルギーを持つ子どもへの対応を充分におこなわなければならないこと。 動物の世話にかかる作業の軽減を図ること。	手洗いやうがいなどの徹底はもとより、個々の児童に応じた動物との距離感・関わり方の工夫を積み重ねていく。 飼育環境を工夫し、必要な作業の軽減を図る。
3	必要な文書などの作成や手続きに遅れや抜けが発生することが散見される。	代表はもとより、職員の抱える事務が多く、対応の時間を充分にとれていない。	行政書士や弁護士などと連携し、必要な助言を受け、手続きを代行してもらうようにする。 あわせて、事務の担当者を設け、任せられるものについては任せるようにする。